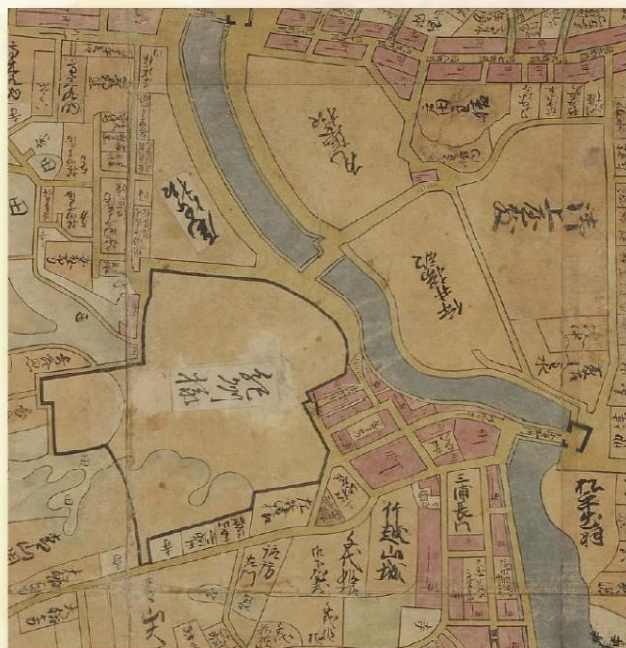


御三家の屋敷に注目！



(明暦) 江戸大絵図 公益財団法人三井文庫所蔵 (左) 江戸城付近 (右) 四ッ谷御門外

初期の江戸城が成立すると、本丸・西の丸の北側、上左の図でいうと左側に徳川御三家の屋敷が建ち並んでいました。

しかし、明暦大火の後に移動していくことが判明しています。

(明暦) 江戸大絵図ではその部分が抹消され、上に付箋が貼られています。つまりこの図は元々明暦大火以前に作成され、御三家屋敷を書き込んでいたことがわかります。次に、紀州藩邸の移転先となった四谷御門外を見てみると、付箋によって「御上屋敷」、「紀州様」と表示されています。つまり明暦大火後の情報が書き加えられているのです。また、紀州徳川家の上屋敷を「御上屋敷」と記していることから、この図の作成者が紀州藩の関係者自身であったことを示すでしょう。

このような検証によって、本図が明暦大火前の絵図に、大火後の都市改変情報を書き加えた貴重な歴史的資料であることが実証されてきたのです。